

「マイクロプラスチック汚染への対策と取組」

■趣旨：

プラスチックごみによる海洋汚染は、ここ数年海洋汚染の専門家だけでなく、廃棄物管理など海洋汚染の専門家以外の分野からも注目され、対策も含めて国際的な議論や取り組みが始まっています。2015年のドイツでのサミット、続いて今年5月に日本で行われた伊勢志摩サミットや富山での環境大臣会合でも海ゴミが議題となっています。今年6月には、国連本部で第17回「海洋及び海洋法に関する国連総会非公式協議プロセス(ICP)」という会議が、「海洋ごみ、プラスチック及びマイクロプラスチック」というテーマで開催され、世界54カ国の代表、12の国際機関、8つの国際NGO、研究者約30名が参加し、海のプラスチック汚染とその対策について議論されました。海洋プラスチック汚染については、大きさに応じて動物プランクトンから魚貝類、海鳥、クジラにいたるまで様々な生物に汚染が広がり、海産物にも汚染が広がっていることから食の安全、人への影響も懸念されています。この現状から今後を視通するための知見の集積から、対策と取り組みに関する講演と議論を行うセミナーを企画しました。

■主催：廃棄物資源循環学会 消費者・市民研究部会、関東支部

■後援：川崎市

■日時：2017年6月1日（木） 13：30～17：00 （受付は13:00より開始）

■場所：川崎市産業振興会館（川崎市幸区堀川町66-20）

地図：<http://www.kawasaki-net.ne.jp/kaikan/access.html>

JR川崎駅、西口改札出口より徒歩5分

■定員：200名

■参加費：無料

■参加申込：以下のwebから申込ください。

廃棄物資源循環学会HP（http://ismcwm.or.jp/?page_id=11189）

■プログラム：

<13：30～13:35> 開会の挨拶

廃棄物資源循環学会会長 島岡 隆行氏

<第一部>

<13：35～14：15> 「マイクロプラスチック汚染への現状と対策」

（東京農工大教授）高田秀重氏

<14：15～14：40> 「河川流水中のマイクロプラスチック汚染の現状」

（東京理科大学教授）二瓶泰雄氏

<14：40～15：00> 「海ごみを減らすためにできること」

（京都大学准教授）浅利美鈴氏

<15:00～15:20> 質疑応答

<15:20～15:35> 休憩

<第二部>

<15:35～16:25> パネルディスカッション（プレゼンテーション）

環境省リサイクル推進室長補佐 鈴木弘幸氏

川ごみサミット事務局長・荒川クリーンエイド 伊藤浩子氏

セブン&アイ HLDGS.オフィサー 藤乗照幸氏

プラスチック工業連盟専務理事 岸村小太郎氏

川崎市

<16:25～16:55> 二瓶氏、浅利氏も加え、パネルディスカッション

コーディネーター：（東京農工大教授）高田秀重氏

<17:00> 終了